

令和2年度 「福島議定書」事業（事業所版） 取組事例紹介

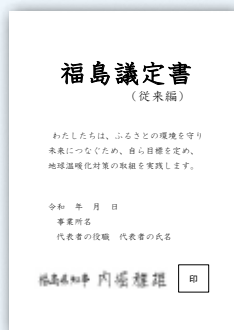
「福島議定書」事業とは

学校や事業所が、二酸化炭素排出量の削減目標などを自ら定め、知事と「議定書」として取り交わし、主体的に省エネ・省資源等に取り組む事業です。

学校版は平成18年度から、事業所版は平成20年度から事業をスタートさせ、今年度でそれぞれ15年目、13年目となります。

取組内容は、二酸化炭素排出削減につながる省エネ・省資源等に取り組む「緩和分野」、気候変動の影響への対応に取り組む「適応分野」、プラスチックごみ対策に取り組む「重点分野」の3つに分かれています。

また、参加事務所は、エコドライブ講習会の講師派遣や、省エネの取組に関する助言などを行う省エネアドバイザーの派遣を無料で受けることができます。



	従来編	上級編
対象事業所	県内事業所	年間エネルギー使用量が原油換算1,500kL以上の事業所等
削減対象	二酸化炭素	温室効果ガス(二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素等)
基準年度	直近3ヶ年から任意で選択	前年度
取組期間	5月～10月より2～6ヶ月間を任意で選択	通年
取組報告時期	参加年度の11月末	参加年度の次年度の11月末
表彰時期	参加年度の2月	参加年度の次年度の2月

問合せ先

福島県環境共生課 〒 960-8670 福島市杉妻町2-16

◆TEL 024-521-7813 ◆FAX 024-521-7927 ◆E-mail ontai@pref.fukushima.lg.jp

◆HP



福島県の地球環境
保全のキャラクター
エコたん

【令和2年度取組結果】

今年度は、329校（園）、1,624事業所の参加があり、約950世帯の1年分の排出量に相当する約4,000トンの二酸化炭素が削減されたと推計しています（上級編除く）。
また、優良で模範的な取組を実施した20校（園）、17事業所の計37団体を表彰しました。

【令和2年度「福島議定書」事業表彰式】

最優秀賞等受賞17団体に出席いただき、表彰式を行いました。
式では、知事挨拶、賞状授与の後、地球にやさしい“ふくしま”県民会議代表から講評をいただきました。



表彰式記念撮影



知事挨拶の様子

○ 知事挨拶 福島県知事 内堀 雅雄（抜粋）

児童・生徒の皆さんや従業員の皆さん、さらには、御家族が力を合わせ、省エネはもとより、ごみの分別等による廃棄物の削減、資源の再利用、環境教育や環境保全等の社会貢献活動など、本当に素晴らしい取組を行っていただきました。皆さんの活動が模範となり、取組の輪が県内全域へと更に広がっていくことを期待しております。

○ 講評 地球にやさしい“ふくしま”県民会議 代表 渡邊 明（抜粋）

当初の京都議定書の実現から、新たなパリ協定の実現へ向けて継続して温室効果ガス削減に取り組んでいることに敬意を表します。

活動の内容も広範になり、省エネ・省資源・リサイクル活動から創エネ・環境美化・教育活動まで、各学校や事業所が地域ぐるみで実施されていることを高く評価しております。



講評の様子

従来編 オフィス・店舗等部門 最優秀賞

みやぎ生協・コープふくしまの環境取組み

CO2 削減、ごみの分別リサイクルなど

(1) 省エネの取組み

- 高効率の冷凍冷蔵設備を店舗や共同購入センターに導入



- 冷暖房の空調温度管理
- 電気のデマンドコントロール



(2) 再生可能エネルギーの利用

- 太陽光発電設備の導入



- 再生可能エネルギー利用のポスター掲示



(3) ごみの分別リサイクルの取組み

- 食品トレイ、紙パック、アルミ缶、スチール缶の回収



- 組合員から古紙を回収

(4) レジ袋削減 マイバッグ持参の推進



今後の課題

リサイクルの種類を増やすこと（透明トレイ、食品残渣）、CO2 排出係数の低い再生可能エネルギーへの切り替えを行いCO2の削減を行う。

従来編 製造業等部門 最優秀賞

NOK株式会社 令和2年度「福島議定書」事業取組紹介



NOKグループは、企業行動憲章において「経済社会の発展を担うだけでなく、すべての利害関係者、いわゆるステークホルダーに誇りをもってもらい、ともに夢を追い続けることのできる経営」を推進すると定めています。すべての事業活動は企業行動憲章（経営理念・経営方針・企業行動原則）を土台として行っています。そして環境、社会、企業統治の各方面において、企業の社会的責任（CSR）を果たすことは、事業活動の継続と一体のものであると考えています。また幅広い背景と状況を考察し、事業におけるリスクや機会を特定するためにも、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションが大切であると考えます。NOKグループは、利益だけでなく「誇り」をもたらすことのできる企業を目指しています。

CSRの考え方



環境基本方針

企業が社会の一員であることを前提に、事業の活動・製品及びサービスが広く地球規模での環境影響に関わりを持つことを全社員が認識し、持続的な発展が可能な社会の実現に貢献すべく会社の環境基本方針を定め、次世代以降も視野に入れた環境安全管理に努めます。

1. 技術の向上・製品の開発を推進し、環境負荷の低減に努める。
2. 省エネルギーと資源の再利用を推進する。
3. 化学物質の管理、地球環境汚染の防止、水使用及び排水管理の取組みを強化する。
4. 環境法規制、条例等を順守する。
5. ステークホルダーの要求事項に対して積極的に取り組む。
6. 環境保全活動を通じて、地域・社会とのコミュニケーションを図る。
7. 地球環境への意識を高揚し、環境マネジメントシステムの継続的改善に努める。

全文はNOKのホームページを参照ください。



1. 緩和分野（CO₂排出削減）

- ・省エネ委員会による省エネ活動の推進（パトロール、省エネ計画推進）
- ・冷媒液化促進装置の取付
- ・Web会議推進による社有車使用燃料の削減
- ・全従業員を対象とした環境教育の実施（1回/年）
- ・外灯照明のソーラーLED化
- ・空調室外機へ散水装置の設置
- ・夏28℃冬20℃の温度設定
- ・デマンドの見える化



2. 適応分野の取組結果

- ・BCM計画の策定（机上訓練実施）
- ・ゲリラ豪雨対策として、社内駐車場に貯水できるよう、排水経路の変更
- ・熱中症対策として、塩分補給タブレットの配布
- ・グリーンカーテンの設置
- ・緑地駐車場の整備



3. 重点分野（プラスチックごみ対策）

- ・エコバンド導入による輸送用ラップの削減
- ・歯ブラシ回収プログラムへの参加
- ・不適合品対策による廃棄物発生量の削減



4. 関連する社会貢献活動（1/2）

- ・海ゴミゼロウィーク活動 9月23日、9月30日実施 延べ74名参加



- ・猪苗代湖水草回収ボランティア 10月17日実施 14名参加



世の中を動かす、中の人です。

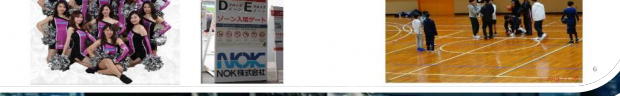


4. 関連する社会貢献活動（2/2）

- ・献血活動
- ・コロナ対策備品の寄付



- ・地域スポーツチームへの協賛（福島ファイヤーボンズ・福島ユナイテッドFC）
- ・学生スポーツクラブへの体育館貸出



従来編 運輸・設備業・その他等部門 最優秀賞

山木工業株式会社

社会貢献活動取組状況

① エコキャップ運動（重点分野：プラスチックごみ対策）

海洋プラスチックによるごみは、普段私たちが使っているプラスチック製のペットボトルや容器などが、ポイ捨てなどによる適切な処分がなされずに海に流されることが原因です。プラスチックごみは海洋の汚染だけでなく、海に生きる生物や産業、私たちの体にまで影響を与えます。プラスチック製品は私たち消費者が使い、そして処理を適正に行っていないためにごみとなって海に流れ着いてしまうことが要因です。



私たち消費者が、プラスチックごみの削減・海洋プラスチックを出さないためには、*3R実施を心掛ける：「リデュース（Reduce）」（出さない）「リユース（Reuse）」（再利用する）「リサイクル（Recycle）」（再利用する）必要があります。

弊社としましては、「キャップ専用回収容器」を、①本社②小名浜工務事務所③49号線維持工事現場事務所に常時設置しております。

※2020年度重点分野（プラスチックごみ対策）（目標）エコキャップ運動に積極的参加

- ・・・5回提供出来ました。
- ・エコキャップ提供



・エコキャップ提供先：鶴江物産福島



私たちは、日々の生活でプラスチック製品を使い、プラスチックごみを出しています。例えば、お店でもらうレジ袋、プラスチック製のスプーンやストロー、商品のパッケージ等。日本は、一人当たりのプラスチック容器包装の廃棄量が世界で2番目に多い国です。プラスチックの3Rを進めるためには、私たち一人ひとりがプラスチックごみを減らす取組をしていくことが重要であります。

熱中症対策の実施（適応分野：気候変動適応策）

⑩熱中症ゼロを目指す。（作業所含）

猛暑の中、日中屋外で作業をする建設業は、全産業の中でも「熱中症発症率のリスク」が高い業種であります。熱中症は、気温の他にも湿度や風向、熱の照射、作業内容（運動量）、作業員の体調など総合的な要因によって発症し、高温・多湿な環境下で、体内の水分・塩分（ナトリウム）バランスが崩れて、体に障害が起きている状況（日射病・熱射病・熱疲労・熱痙攣・熱失神など）の総称で、めまいや失神、頭痛、吐き気、筋肉痛などの症状から、意識障害・痙攣（けいれん）・高体温などを引き起こす重篤なまでの様々な症状があり、場合によっては死に至ることもあります。作業所の主な熱中症対策として、①各種「熱中症対策グッズ・用品」の購入②各作業所での教育実施（安全協議会等）③気象情報の入手④作業現場の環境改善⑤休憩場所の整備⑥水分・塩分の摂取⑦作業中の巡視等があります。

※2020年度適応分野（気候変動適応策）（目標）熱中症ゼロを目指す。

- ・・・熱中症発生はゼロでした。
- ・熱中症対策グッズ



・作業現場の環境改善



・安全講習会（熱中症対策等）



従来編 オフィス・店舗等部門 優秀賞

FUJI XEROX

令和2年度 福島議定書 取組結果報告

富士ゼロックス福島株式会社 2021.2.4

CO₂排出量削減に向けた取組内容

(青字=今年度からの新規取組内容)

節電	<ul style="list-style-type: none"> 事務所用明設備の段階的なLED化、エアコン温度管理と扇風機・サーキュレーター活用、部分・終日消灯 廊下時のPC電源オフの実施、PC画面の明るさ半減設定、夜間待機電力カット 定時外労働時間の低減（業務効率化推進、ノーマル残業の徹底、フレックス勤務制度の積極活用）
節水	<ul style="list-style-type: none"> 節水ポスター&ステッカーによる啓蒙
意識向上	<ul style="list-style-type: none"> 各職場への「節電ポスター」、「ノーマル残業推進ポスター」、「5S活動」、「用紙削減推進ポスター」、「ごみ分別ステッカー」等の掲示や貼付 環境月報の継続発行による環境パフォーマンスデータの社内フィードバック 「環境ニュース」の発行と社内掲示
使用燃料削減	<ul style="list-style-type: none"> 低燃費車およびハイブリッド車の計画的導入 車両への啓発ステッカー貼付（エコドライブ実践）、適切なオイル交換、点検整備、タイヤ空気圧チェック、車内の整理整頓
職場交通マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 新幹線通勤の既取組（通勤費全額支給） テレワーク（在宅）の積極的推進 「ケンコム」アプリ活用による徒歩通勤の奨励
ゼロエミッション	<ul style="list-style-type: none"> 使用済み製品の回収、およびその部品リユースと再資源化の推進 商品梱包材（紙ボール、発泡スチロール、木製パレット）のリサイクル推進 オフィスから出る廃棄物の分別徹底、およびマテリアル・リサイクルやサーマル・リサイクルの推進
関連する社会貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> エコキャップや使用済み切手の寄付活動
その他独自取組	<ul style="list-style-type: none"> お客様向けオンラインセミナーの開催（来場のための自動車利用の削減） 「新型コロナウイルス感染予防ポスター」データの無料配布（治療等にかかる電力の削減に対する貢献）

適応分野の取組結果

(青字=今年度からの新規取組内容)

設定目標	健康経営の一環として熱中症ゼロを目指す
暑さ対策	<ul style="list-style-type: none"> クーリスの実施、熱中症予防ポイントの周知徹底 フレックスサマーホリデーの有効活用
風水害等の被害対策	<ul style="list-style-type: none"> サイバノレカードの配布（社員および家族分） 職場でのハザードマップの掲示 クラウドへのバックアップによる重要データの迅速
適応をビジネス機会と捉えた企業活動	<ul style="list-style-type: none"> 大判サイズポスターの販売（熱中症予防ポスター、5S活動ポスター、新型コロナウイルス感染予防ポスター、災害対策ポスター等）
その他独自取組	熱中症予防ポスターデータのお客様への無料配布

重点分野の取組結果

(青字=今年度からの新規取組内容)

設定目標	商品梱包材（発泡スチロール）を確実にリサイクルする
プラスチック製品の3R	<ul style="list-style-type: none"> 商品梱包材（発泡スチロール）のリサイクル徹底 各職場でのごみ分別徹底

環境パフォーマンス (モニタリング & 社内情報共有)

CO₂排出量の削減

2017年実績から **3%+削減**

CO ₂ 排出量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2017年実績	46,718	34,259	41,868	42,075	39,001	43,189	39,333	39,095	42,921	41,781	44,583	46,210
2020年実績	31,890	26,679	33,198	35,660	31,252	38,602	33,939	32,254	38,830			
削減率	8.2%	7.5%	8.0%	8.4%	7.9%	4.5%	4.3%	4.5%	7.2%			
目標	21.7%	22.1%	20.7%	15.2%	19.9%	10.6%	16.7%	15.9%				

削減率: 2017年実績 21.7% → 2020年実績 8.2% (目標 21.7%)

啓発ポスターの無料配布

ポスターの大判サイズ印刷サービスも始めました。

緩和
適応

感染症
予防

従来編 製造業等部門 優秀賞

アルパイン マニュファクチャリング株式会社

ALPSALPINE

アルパインマニュファクチャリング(株)はアルプスアルパイン(株)グループの一員として環境活動推進に取り組んでいます。

福島議定書取組内容

各節電取組み

★チラー更新★

チラーを更新し、使用電力を%削減しました。

★設備集約★

S工場で行っている同じ業務を%工場に集約し、効率化を図りました。

設備を移動後の状況

★事務所集約★

製造関連の事務所を集約して1フロアを空け、資材倉庫としました。空調が不要となりました。

事務所を移動し、資材倉庫へ

★自販機台数削減★

自販機を集約し、休憩エリアを広げるために自販機台数を見直しを行い、"工場"で1台削減しました。

環境意識向上取組み

★環境カード配布★

"工場"で全社員に環境カードを配布し、会社の環境目標の周知を図り、#環境教育を実施しました。

なお、裏面は労働安全に関する記載になっています。

★省エネ委員会★

省エネ委員会を発足しました。

経費削減を視点としていますが、省エネ委員会を発足し、活動しています。

★エアコン使用経費の表示★

各エアコンのリモコンに、電気代と責任者を掲示しました。

エアコンのリモコンの上に1時間当たりの電気代を掲示して省エネ意識の向上を図りました。#また、それぞれに責任者を決めて、つけ置きを防止しています。

★環境活動実施状況掲示★

環境活動実施状況を四半期ごとに掲示し、従業員にアピールしました。

廃棄物取組み

★圧縮機の導入★

圧縮機を導入しました。

軟質プラスチックを圧縮・梱包することによって#
 *廃棄物置き場の見栄えをよくする#
 *廃棄物置き場の保管効率向上#
 *廃棄物搬出回数の低減...運送に使用する燃料の削減

水害取組み

★建屋・設備への被害防止★

電源設備はキュービクル

土台の上に電源設備を設置して水没のリスクを低減

★水害対策訓練実施★

建屋の入り口に止水板設置訓練

トイレ・洗面所からの逆流防止の訓練

従来編 運輸・設備業・その他等部門 優秀賞

大槻電設工業株式会社・大槻商事株式会社

令和2年度「福島議定書」事業 新たな取り組み

適応分野の取組

風水害等の被害対策

災害リスクを意識し、「備え」と「心構え」に取り組んでいます！



今年度から「ハザードマップ」を活用し、社員の安全確保と緊急連絡体制を整備しました。災害時には「応援協定」を締結。さらに、福島市消防団協力事業所へ登録。その他、緊急時の応急対策業務として、資機材・物資及び車輛にも備えています。

「省エネ委員会」を通じて、昨今の異常気象から学ぶ・備えるをテーマに勉強会を実施しています。「熱中症対策」・「極端な豪雨災害における行動」・「緊急時の対応策」など。



重点分野の取組(新規)

今年度は「レジ袋削減」に特化し、使い捨てプラスチック及びゴミ削減に取り組んでいます。会社全体で、ゴミ減量に向けて、啓発活動をはじめ、様々な対策を講じています。

「レジ袋削減」を目標に、全社員に対し、エコバックの利用促進に努めています。

コンビニでは、レジ袋・割りばしが不要である旨を伝える。「ノープラ」普及推進・啓発活動を実施中。



「マイボトル運動」を継続することで、使い捨て飲料容器の削減に努めています。



新たな取り組みとして、「食品ロスの軽減」・「食品廃棄物の発生抑制」にも取り組んでいます。

「海洋プラスチックごみ問題」についても、私たちができることは何か？を考え、意識改革に取り組んでいます。

従来編 団体部門賞

生活協同組合 コープあいつ 「福島議定書」地球温暖化防止 緩和・適応活動の概要

豊かでくらしやすい地域を大切に、子孫に対して、人類共通の財産である美しい地球を残すため、環境保全に配慮した事業活動を行います。経済と環境が両立した「持続可能な社会づくり」の為に、循環型システムの構築と人類共通の課題である地球温暖化対策をすすめます。原発に頼らないエネルギー政策や再生可能エネルギーの推進の為、施設や設備の省エネ化や再生可能エネルギーの利用促進を行います。

1. 温室効果ガス削減目標

温室効果ガスの排出量を、2030年までに2013年比45%以上削減する。2050年までに90%以上削減する。

地球温暖化は、私たちの暮らしを脅かします。持続可能な社会づくりを進めていくためにも、温室効果ガスの削減はコープあいつとしても重要な課題と捉え、具体的な目標を設定して取り組みを進めています。



2. 温室効果ガス削減の取り組み

天井照明やスポットライトは、すべてLED照明に変更しています。



店舗の飲料冷ケース、閉店後の冷却を停止。プレハブ冷蔵庫のファン停止。*少しでも無駄な電気は使用しないよう、設定変更やタイマーなどを活用して省エネ。



空調機・冷ケースの室外機に自動噴霧装置の設置
タイマーによって、ピークとなる時間帯に自動噴霧装置で室外機の熱交換フィンへの水かけを行い、効率のよい運転とピーク時の電力消費の抑制を行っています。



フロンを使わない冷ケースの導入。

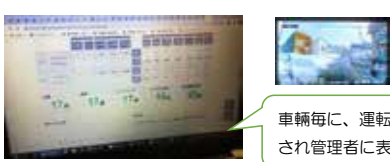
フロン対策だけではなく、同じような冷ケースと比較して約15%程度省エネになります。また、蓋つきのケースを採用し、冷気の流出を防ぎます。



配管の断熱による放熱ロスの抑制



配送車両にエコドライブシステムを導入。無駄なアイドリングや急発進急ハンドルの抑制を行い、省エネ運転と安全運転につながります。



車輻毎に、運転状況が点数化され管理者に表示されます。

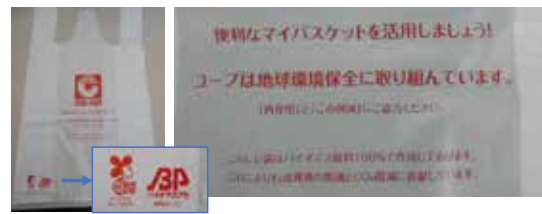
3. 地球温暖化防止、「適応」の取り組み

台風や水害に対して、「タイムライン」の作成を行いました。「タイムライン」とは、災害に備え、予め時系列に対応を決めて対応を行います。

*台風の場合、7日前から情報収集し、5日前から監視、被害発生時に備えた行動を計画に沿って実施します。また、災害が発生した際も、どんな支援が必要かも予め計画を立て、早い復旧を目指します。

4. プラスチックの使用抑制

レジ袋を、バイオマスプラスチック(90%使用)に切り替え、プラスチックの使用抑制を図っています。



エコ消費を進めています。プラスチックの使用量を抑制したペットボトル飲料や再生プラスチックを使用したレットカレーなどの普及を行っています。



ラベルの長さを短くしました
本体の重量 31g→24g

回収ペットボトルを使用した包装材料を使用。

5. その他

「猪苗代湖クリーンアクション2019Vol2 IN舟津浜」や「クリーンふくしま鶴ヶ城公園清掃」などの清掃活動にも参加しています。



従来編 緩和分野賞

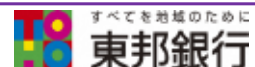
郡山女子大学及び同短期大学部の環境活動への取り組み

- 環境マネジメントシステム（エコアクション21）の導入**
 2004年12月に教育機関としては全国初となる認証・登録（認証番号0000091）を受け、環境目標第一に「エコマインドを持った学生・生徒の育成並びに、関連教育研究の推進」を掲げ、地球環境との調和・共存、持続的に発展可能な循環型社会の構築に向けて継続的に取り組んでいる。
- 森林保護活動**
 国有地3か所及び私有地1カ所合わせて東京ドーム約13個分に檜・杉の苗木を全学生、生徒、園児、教職員が植樹。森林教室や林業体験（下草刈り・裾枝払い）を実施し、森林の重要性を伝えた。東日本大震災後は、日本環境協会の協力要請を受けて、プロジェクトD（被災地に緑と心の復興を目指す目的としてどんぐりの苗木を植樹する活動）へ環境委員会及びナチュラルライフスタイル部並びに郡山女子大学エコレンジャーが参加し、令和2年度において日本環境協会より事業を引き継いだ。
- eco検定対策講座の実施**
 学生・教職員向けにeco検定対策講座を実施し、エコマインドの普及・向上を図っている。合格した学生・教職員は、郡山女子大学エコレンジャーとして活動している。
- 5つ星エコ大学獲得・サステイナブルキャンパス「ゴールド」認定**
 国内の大学に対してアンケートを実施し、集計等の結果、本学を含めて6大学が5つ星エコ大学を獲得した。又、教育・研究・社会連携・キャンパス整備を通して、持続可能な社会の構築に貢献する大学としてサステイナブルキャンパス「ゴールド」に認定された。
- 太陽光発電設備の設置と照明のLED化**
 環境負荷の削減のため、屋上や屋根に太陽光パネル80kWを設置。また、蛍光灯からLED照明へ順次更新している。
- 地域貢献活動**
 - 郡山市主催のごみゼロキャンペーンに参加し、ごみの削減を啓発
 - 郡山市生活環境部と協働で「COOL CHOICE」を啓発
 - 災害に強いキャンパスへ安心安全な避難所づくり
 - 自治体、企業、各種団体と包括連携協定を結び地域貢献活動を実施



従来編 緩和分野賞

環境保全への取組み



節電への取組み

東邦銀行では、本店、事務センター及び各店舗において、節電等により二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいます。



〈機器関連での節電への取組み〉

- ◆LED照明
2011年以降、新店舗は全てLED照明
- ◆高効率エアコン等への更新および導入
約50%の電力削減効果あり
- ◆ホストコンピューターの更新及び移設
ホストPC小型化による空調機使用減少
事務センター電気使用量の大幅削減



〈働き方での節電への取組み〉

- ◆早帰りの積極推進
毎週水曜日は早帰りを励行し、節電とともにワークライフ・バランスの取組みを後押し
- ◆朝型勤務
業務効率の上がる“朝型”にシフトし、朝6:30から勤務可能なため、特に夏場は冷房等の節電に貢献
- ◆服装の自由化
服装自由化の実施により、室温設定を適温に保ち電力の消費を削減
夏季期間（6月～9月）については冷房温度を原則28度に設定、冬期間（11月～3月）については暖房温度を原則20度目安に設定

植林活動の実施



東邦銀行では2009年から「森の再生」と「海岸防災林再生等の環境整備」を主な目的として、職員とその家族が県内各地で植林活動を実施しています。森づくりの活動は、延べ3,000人以上が参加し、約3,880本の木を植えてきました。

実施年	場所	植樹本数
2009年～2010年	須賀川市	2009年…200本、2010年…200本
	喜多方市	2009年…200本、2010年…200本
2011年	喜多方市	225本
2012年	北塩原村	120本
2013年		80本
2014年	いわき市	75本
2015年		100本
2016年	200本	
2017年	南相馬市	500本
	相馬市	750本
2018年	相馬市	800本
2019年		630本
2020年	新型コロナウイルスの影響により植樹中止（下草刈り、除伐のみ実施）	

※植樹のほか、下草刈りや除伐も実施

ペーパーレスの推進

紙使用量削減の取組みとして、ペーパーレス会議の開催や営業店展示ポスターの電子化、ディスクロージャー誌の電子化等に取組んでいます。また、通帳アプリを積極的に推進しています。



プラスチックスマート宣言

環境を汚染し、生態系を乱すプラスチックごみを減らすとともに、そのリサイクルを強化するため「とうほうプラスチックスマート宣言」を制定し、環境保全に努めています。



- ペットボトルを控えマイボトルに!
- 買い物にはエコバッグをつかう!
- プラスチックストローは控える!
- 食品容器や文具、生活雑貨も見直す!
- プラスチックはしっかりリサイクルへ!

東邦銀行グループでは、SDGs/ESGへの取組みを強化し、持続可能な地域社会の実現に向け経営一体となり取り組んでいます。



従来編 緩和分野賞

職場交通マネジメント

ノーマイカー通勤の推進
ノーマイカーで通勤した日に○を付け報告書として提出する



ノーマイカー通勤報告書

可燃ごみの削減

社内から発生するゴミを
きっちり分別・リサイクルへ
分別を分かりやすくするため
ゴミ箱に絵で表記
古紙は回収業者へ委託



地球温暖化対策に
積極的に取り組んでいます

公共交通機関を利用してCO2削減



福島交通 株式会社

Fukushima Transportation, Inc.
福島議定書事業に毎年参加中

社会貢献活動

地域団体、学校関係、高齢者向け等で「バスの乗り方教室」を開催
慣れないバスについて学んで自家用車からバスへシフト！
渋滞緩和とCO2削減へ貢献



省エネタイプへ切替

照明器具のLED化

令和元年度 福島県省エネ対策推進事業補助金を活用して
飯坂線桜水駅・飯坂温泉駅を完全LED化
水銀灯・蛍光灯を更新



桜水駅
-想定される効果-
電気使用量約70%削減(照明のみ)

飯坂温泉駅

社内啓発活動

社内での省エネ啓発のため
社内用ポスターを作成・掲示



省エネ設備を導入して 社屋の建替え

白河営業所



省エネタイプの鉄道車両、バスを導入



従来編 適応分野賞

株式会社 島工業

令和2年度「福島議定書」事業取組結果

1.省エネの取り組み



★LED 照明への変更



★省エネエアコンへの更新



★エコスローガンの掲示
社内でスローガンを募集し
優秀作品を選出して掲
示しています。

2.再生可能エネルギーの利用



★太陽光発電設備の導入

3.ごみの分別リサイクル

★多種のゴミを分別しリサイクルしています。



4.社会貢献活動



★年6回、周辺道路のごみ拾いを実施しています。

従来編 適応分野賞

共に創り 共に絆ぎ 共に歩む

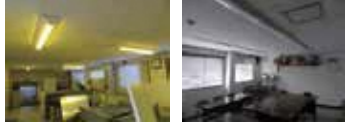
kep 共栄印刷株式会社

「福島議定書」事業取り組み結果

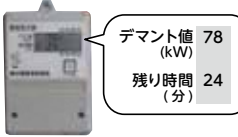
1 緩和分野の取り組み

節電

- 照明の間引きや休憩時の消灯の実施



- 消費電力のデマンド装置による各部署への節電協力



- 社内照明をLED化



節水

- 水を流しっぱなしにしないためにバルブ閉め



意識向上

- エアコンの適正管理

室内温度
冷房：28度以上
暖房：18度以下
時にエアコン使用



使用燃料削減・職場交通マネジメント

- アイドリングストップ宣言やエコドライブの徹底
- 納品時のルート検索や混載車両での納品実施



ゼロエミッション

- ウエスの再利用や再生紙リサイクル



その他の独自取り組み

- 毎年、郡山市の園児約1万名に塗り絵帳を寄贈



2 適用分野の取り組み結果

風水害の被害対策

- 水害対策マニュアルの作成



適応をビジネス機会と捉えた企業活動

- 感染症対策として抗菌加工印刷の推奨



従来編 適応分野賞

大切な自然・環境・資源を未来へ

株式会社 柳田産業

福島議定書

地球温暖化防止への取り組み

1. 地球温暖化防止の有効的な設備

- (1) 廃材利用による薪ボイラーの活用による野菜の水耕栽培、関連企業への燃料供給(解体廃材)

薪ボイラー



トマト・小松菜・レタス・ねぎの栽培



- (2) 薪ボイラー室

廃材再利用によるボイラー室



- (3) 薪割り機



2. 節水・節電活動

- (1) 地下水の積極的な利用

洗車・洗浄には地下水を利用(揚水設備)



揚水ポンプ



- (2) 電気・水道使用箇所に節約表示

各水道蛇口に表示



夏季室温28℃設定



- (3) 事務所暖房に薪ストーブの利用(解体廃材利用)

土木作業事務所



栗生クリーン事務所



3. その他の活動

- (1) 災害救援用大鍋の保有

1回 150人分給仕可能 (2個)



- (2) 社会貢献

栗生クリーンまでの県道を清掃



- (3) 全従業員への温暖化防止への意識高揚



上級編 優秀賞



AGCエレクトロニクス株式会社 「福島議定書」 事業への主な取り組み内容

1、温室効果ガスの削減への取り組み

●再生可能エネルギー設備の増設

既存の太陽光発電所のパネルを増設し発電量を増やしました。発電した電気は全量自家消費として最大需要電力と電気使用量の削減を行いました。



太陽光発電所 定格240kW



ハイブリッド発電(太陽光及び風車)

●照明のLED化

社内の照明のLED化を進めています。蛍光灯や水銀灯など全体で5,400灯のうち3,900灯をLEDへ置き換えました。また、本宮事業所の外灯(35台)は全て、商用電源を必要としないソーラー付き街路灯へ入れ替えました。



切りひも付きLED照明、高天井用LED、ソーラー付き街路灯



●工場冷却水の廃熱回収

クーリングタワーで大気に捨てていた廃熱を熱交換器で回収し、空調で再利用しました。



廃熱回収用熱交換器

●ポンプの省エネ

ポンプを高効率ポンプへ置き換え、或いは高効率モーターに入替し、更にインバータによる圧力制御により、使用電力の削減を行いました。



高効率ポンプ



高効率モーター

●老朽空調機の更新及び、高効率空調機の採用

老朽した空調機は代替フロン類の機器への置き換えを行っています。また、新設時はより高効率な空調システムの採用を行っています。



老朽空調機の更新



高効率モジュールチラー

●コンプレッサの更新

一定速機はインバータ制御機へ更新し、台数制御を導入することで、使用電力の削減を図っています。

●ガラス窓の断熱

事務所や食堂の既存の窓ガラスにLow-Eガラスを貼り付け、ペアガラス化をして断熱強化させました。

●水使用量の削減

工場排水の再利用や節水ノズルの設置による水使用量の削減を行いました。

2、社会貢献活動

●ガラス出前授業

地域の小中学生を対象に「(人づくり)未来を担う子供たちが夢に向かって成長できる支援」を目的として“ガラスの面白さ”を伝える出前授業を行っています。



授業風景

●エコキャップワクチン運動

ペットボトルのキャップを世界の子供たちのためのワクチン購入代金に充てる「エコキャップワクチン運動」に参加しています。これまでペットボトルキャップ686,907個を収集し、1,145人分のワクチンを寄付しています。



ペットボトルキャップ回収箱

●車いす寄付

“環境”と“福祉”を融合させた社会貢献の取組みの一環として、使用済みアルミ缶の回収に取り組んでいます。90Lビニール袋で140袋(12,600L)ごとに車いす1台と交換でき交換した車いすは地域の施設に寄付しています。

●献血活動

福島県では血液が不足しています。年2回、春と秋には、社員に献血への協力を呼びかけ、実施しています。

3、ゼロエミッションへの取り組み

- ・ごみの分別
- ・プラスチック減容器の導入による廃棄物の再資源化
- ・産業廃棄物のリサイクル、再資源化業者への委託推進
- ・包装資材のリユース(通函の使用)

4、その他の取り組み内容

- ・社用車のハイブリッド車採用
- ・省エネ改善提案キャンペーンの実施
- ・みんなでエコチャレンジ用紙の配布
- ・夏季クールビズの実施

～参加団体一覧～

※御了承いただいた事業所のみ掲載しております。

【従来編 オフィス・店舗等部門 (105団体)】	会津信用金庫	アティ郡山	株式会社どりーむオン
富士ゼロックス福島株式会社	郡山信用金庫	滝口木材株式会社	有限会社インテック
株式会社福島マツダ	白河信用金庫	株式会社磐梯園	有限会社菅野房吉商店
株式会社ベスコ 福島支社	須賀川信用金庫	有限会社郡山みづほライセンセンター	サイトウ洋食店
株式会社東邦銀行	ひまわり信用金庫	福交整備株式会社	国土防災技術株式会社 福島支店
株式会社ダイエー	あぶくま信用金庫	株式会社共栄ブレーン	山本商事株式会社
公益財団法人 湯浅報恩会 寿泉堂香久山病院	二本松信用金庫	東北緑化環境保全株式会社 原町支社	山北調査設計株式会社
株式会社二嘉組	福島信用金庫	株式会社島工業	キャノンマーケティングジャパン株式会社 福島営業所
福島県土地改良事業団体連合会	二本松商工会議所	桑折町役場	有限会社スポーツショップワタナベ
福島トヨペット株式会社	株式会社テレビユー福島	東北電力株式会社 原町火力発電所	昭和技術設計株式会社
寿建設株式会社	株式会社ブレイン	株式会社ノウチ工業	株式会社プラスワン・福島
株式会社東日路政コンサルタント	相馬共同火力発電株式会社	金山町商工会	株式会社藤建技術設計センター
郡山女子大学	一般財団法人 温知会 会津中央病院	社会福祉法人のびのび福祉会 のびのび保育園	おとぎの宿 米屋
郡山女子大学短期大学部	株式会社大東銀行	有限会社佐藤商会	
公益社団法人福島県トラック協会	福島県農業協同組合中央会	生活協同組合 コープあいづ	
北日本電線株式会社 福島支社	株式会社ダイユーエイト	生活協同組合 パルシステム福島	
株式会社相双環境整備センター	常磐火力産業株式会社	一般社団法人いわき労働基準協会	
株式会社地質基礎	東京電力ホールディングス株式会社 福島第二原子力発電所	宮本自動車工業株式会社	
株式会社インフォメーション・ネットワーク福島	日本郵便株式会社 東北支社	社会福祉法人南会津会 特別養護老人ホーム 只見ホーム	
株式会社凜	株式会社みらい会計	有限会社すずき屋	
須賀川瓦斯株式会社 本社	公立大学法人 会津大学	バックス情報システム株式会社	
株式会社トーカン	国立大学法人 福島大学	下郷町森林組合	
株式会社福島民報社	株式会社リオン・ドールコーポレーション	サッポロビール株式会社 東北本部南東北支社	
社会医療法人福島厚生会 福島第一病院	東北クリーン運輸株式会社	株式会社竹内商店	
社会医療法人福島厚生会 介護付有料老人ホーム シャローム	ゼビオ株式会社	有限会社榎並商会	
会津大学短期大学部	株式会社有明	朝日プラザ中央管理組合法人	
いわき信用組合	福島さくら農業協同組合	下郷町商工会	
株式会社ユアテック福島支社	常磐共同火力株式会社 勿来発電所	株式会社本宮会計センター	
キョウワプロテック株式会社	陸奥テックコンサルタント株式会社	つみきの家 福島・佐倉下	
株式会社ラジオ福島	ヘアールーム友	有限会社サイトーオート	
みやぎ生協・コープふくしま	ベスト学院株式会社	有限会社テレサ	



福島県の地球環境保全のキャラクター「エコたん」

【従来編 製造業等部門（41団体）】	日栄工業株式会社	佐藤工業株式会社	三友電設株式会社
藤寿産業株式会社	株式会社赤井製材所	須賀川瓦斯株式会社 LPG供給センター	株式会社武田工務店
会津パッケージ株式会社	東亜通商株式会社	株式会社ニノテック	【令和元年度 上級編（14団体）】
株式会社シーズ	協同組合いわき材加工センター 小川工場	株式会社福産建設	北芝電機株式会社
株式会社山川印刷所	株式会社クラロン	東北ポートサービス株式会社 新地営業所	AGCエレクトロニクス株式会社
大同信号株式会社 浅川事業所	有限会社ラプリール丸高	泉電設株式会社	公益財団法人湯浅報恩会 寿泉堂総合病院
株式会社やま陶	NOK株式会社 福島事業場	福島交通株式会社	ユニ・チャームプロダクツ株式会社 Global生産本部 福島工場
大同電器株式会社	有限会社片野製麺所	東北清掃環境サービス協業組合	会津碍子株式会社
日本工機株式会社 白河製造所	【従来編 運輸・設備業・その他部門（61団体）】	株式会社福島総合エンジニア	マレリ福島株式会社
アルパインマニュファクチャリング株式会社	山木工業株式会社	一般社団法人福島市公設地方卸売市場協会	株式会社クレハ 生産・技術本部 いわき事業所
三宝製菓株式会社 福島工場	東北発電工業株式会社 新地支社	渡富建設株式会社	日立オートモティブシステムズハイキャスト株式会社 福島事業所
新日本電工株式会社 郡山工場	茨城クリーン有限会社	フタバコンサルタント株式会社	富士通アイソテック株式会社
協同組合いわき材加工センター	磐城通運株式会社 本社	合資会社共立社	アルプスアルパイン株式会社 いわき事業所
京セラ株式会社 福島郡山工場	磐城通運株式会社 平支店	大槻電気通信株式会社	福島ゴム株式会社
株式会社スズキ製作所 塙工場	磐城通運株式会社 小名浜支店	ひめゆり総業株式会社	クラリオン株式会社 東北事業所
共栄印刷株式会社	磐城通運株式会社 湯本支店	蓬萊東内科	北都オーディオ株式会社
秋元工業株式会社	磐城通運株式会社 植田支店	株式会社ケーイーティ	NECプラットフォームズ株式会社 福島事業所
株式会社ホクシン	磐城通運株式会社 小名浜支店 小名浜製錬営業所	福興産業株式会社	
大同化工株式会社	磐城通運株式会社 植田支店 火力営業所	郡山運送株式会社	
株式会社日ピス福島製造所	大槻電設工業株式会社	株式会社マルト商事	
石橋工業株式会社	大槻商事株式会社	宇内鉄筋工業株式会社	
株式会社いわき印刷企画センター	會津通運株式会社	采女運輸株式会社	
株式会社グリーン発電会津	株式会社渡辺組	株式会社海老屋運送	
株式会社アダチ・プロテック	安積運輸株式会社	株式会社帝北ロジスティックス 倉庫事業部	
株式会社第一印刷	株式会社北福島タクシー	株式会社小野中村	
福島セラミック株式会社	福島貸切辰巳屋自動車株式会社	株式会社福島県東部自動車教習所	
内池醸造株式会社	株式会社堀川環境セキュリティ	村岡産婦人科医院（医療法人栄真会）	
北光金属株式会社	株式会社ホームドクター	有限会社ボデーショップサトウ	
福島タカラ電気工業株式会社 松川工場	水ケアシステム有限会社	株式会社四輪販売福島	
東レフィルム加工株式会社 福島工場	山川産業有限会社	ポタニカル エイジアン(個人事業)	
フラウ株式会社	株式会社タイセークリーン	しなのきホーム新横	
株式会社モリヨシ技研	東邦興産株式会社	株式会社SENYO	
いわきプレカット協同組合	株式会社クリーン商会	株式会社吉田設備	
有限会社新誠電機	ウッドベッカー有限会社	ダイセイ工業株式会社	